

SSRI

Give me a break !

ちよつと一言

「来年度の防衛費が過去最大」の詭弁

藤岡智和

朝日新聞が「防衛費、最大の 5.4 兆円要求へ 陸上イージスなど計上」と題した記事を掲げ、「防衛省が来年度予算の概算要求で、過去最大の 5 兆 4,000 億円を計上する方針を固めた。今年度当初予算より 2,000 億円超の増額」と、防衛費が大幅に増額されると主張しているがはたしてそうなのであろうか。

同紙が伝えているように今年度の当初予算は 5 兆 1,911 億円であることから、もし概算要求通りに政府案の予算で査定されれば（実際にはあり得ないが）4%増となり、ここ数年の 1%前後の増加に比べれば若干増加が早まる傾向になる。それでも中国の 8.1%増、韓国の 7.0%増、台湾の 5.6%増に比べて、相対的に見れば増額と言うより減額である。

そもそも同紙に限らずマスコミが盛んに報じている「過去最大の防衛費」の表現には悪意を感じる。世界中の普通の国で「来年度の国防費が過去最大の額」でない国などあるであろうか。敢えて言えば原油価格の下落で経済が低迷した 2017 年のロシアの国防費が前年度比 27%減という例だけが特別である。

更に、「過去最大の 5 兆 4,000 億円」というが、防衛費は毎年補正予算で増額されており、補正後は昨年度（平成 29 年度）ですら 5 兆 3,596 億円になっていて、今年度も補正による増額があれば実質 5 兆 4,000 億円を越えることになり、もし来年度に補正が行われなければ「防衛費は減額」になることになる。（2018 年 8 月 11 日）